氏名、所属、役職	よ だ　たつろう 依田　達 郎 政策調査分析センター　主席研究員 t.yoda@[未来工学研究所]
専門知識	政策分析、科学技術政策、技術予測（フォーサイト）、統計分析
最近の主な調査業務経験（未来工学研究所における実績等）	【2025 年度】 研究セキュリティ・インテグリティ（Research Security and Research Integrity）に係る調査･分析及びG７オンラインプラットフォーム「バーチャルアカデミー」の運営支援・分析（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局） 安全・安心に関するシンクタンク機能育成事業【事業項目③海外人材交流・シンクタンク在り方提言】（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局） 研究者の交流・ネットワークに関する調査（文部科学省） 【2024 年度】 イノベーション化促進のための海外政策システム（シンクタンクの機能等）に係る調査・分析（内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局（三菱総合研究所と共同実施）） 安全・安心に関するシンクタンク機能育成事業【事業項目③海外人材交流・シンクタンク在り方提言】（内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局） 国際頭脳循環に関する調査（文部科学省） 研究者の交流に関する調査（文部科学省） 【2023 年度】 ポストコロナ時代における国際研究交流に関する調査（新技術振興渡辺記念会） 研究インテグリティ（Research Integrity）に係る調査・分析（内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局） 科学技術と社会との関係性を踏まえた中長期的に振興すべき研究テーマの抽出（文部科学省） 研究者の交流に関する調査（文部科学省） 【2022 年度】 研究インテグリティ（Research Integrity に係る調査・分析（内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局） 公的機関における博士号取得者の雇用・活用状況に関する調査研究（文部科学省） 不適切な研究行為に関する調査（日本医療研究開発機構） 新興国による中南米諸国への影響力拡大に関する調査研究（国立大学） 研究者の交流に関する調査（文部科学省） 【2021 年度】 政策形成における数理モデルの利用：新型コロナウイルス感染症への対応を事例として（新技術振興渡辺記念会） 大学等の研究成果の事業化推進のためのファンド制度とその運営体制に関する調査（国立大学） アジア各国・地域の高校の状況調査（科学技術振興機構） ロシア・東欧諸国・バルト三国の教育・科学技術の主要機関、制度等の状況調査（科学技術振興機構） 気候変動と安全保障に関する委託調査（防衛省） 研究者の交流に関する調査（文部科学省） 【2020 年度】 医薬品等の革新的技術の調査手法の分析業務（厚生労働省） 我が国の研究倫理教育等に関する実態調査・分析業務（文部科学省） 防衛装備品の重要技術等（サプライチェーン）調査（経済産業省） 研究者の交流に関する調査（文部科学省） 【2019 年度】 医薬品等の革新的技術の調査手法の分析（厚生労働省） 次世代人工知能の構想Ⅰ（担当：人工知能と「心」・「意識」）（新技術振興渡辺記念会） 主要国における科学技術・イノベーション政策の動向等の調査・分析（担当：ドイツ）（内閣府） 我が国及び国際社会の将来像に関する調査・分析（内閣府） 国際共同学位プログラムに関する調査研究（文部科学省） 男女共同参画の推進に資する教員研修プログラムの開発に向けた調査研究（文部科

	学省） 研究者の交流に関する調査（文部科学省） 【2018 年度】 薬事規制当局サミットフォローアップのための革新的技術の調査（厚生労働省） 研究不正の告発者とその保護についての事例調査（新技術振興渡辺記念会） 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学支援組織設立調査（国立大学法人北陸先端科学技術大学院） 科学技術の中長期的発展と将来社会像に関する調査（健康・医療分野）（文部科学省） 研究者の交流に関する調査（文部科学省） 【2017 年度】 障害者の STEM 教育、STEM キャリア支援についての比較調査研究（新技術振興渡辺記念会） 沖縄におけるイノベーション・エコシステム形成に向けた実践的調査（内閣府） 研究者の交流に関する調査（文部科学省） 企業や個人から大学教育に対して投じられた資金等に係る諸外国の税制に関する調査研究（文部科学省） 所得連動型教育費負担制度による高等教育費の家計負担の軽減に関する調査研究（文部科学省） 防衛技術分野に係る民間部門の知見等の活用状況調査に関する役務（防衛省） 【2016 年度】 研究活動における不正行為に対する調査方法に関する調査（日本医療研究開発機構） 宇宙政策の動向（担当：国際宇宙法）（国立国会図書館） 科学技術イノベーション政策の立案を支援するフォーサイト活用の基盤に関する調査研究（新技術振興渡辺記念会） 理工系分野における女性活躍の推進を目的とした関係国の社会制度・人材育成等に関する比較・分析調査（内閣府） カリフォルニア工科大学、IST オーストリアの取組を踏まえた OIST の大学運営の在り方に関する調査（内閣府） 研究者の交流に関する調査（文部科学省） 【2015 年度】 諸外国の防衛装備の海外移転に係る実態調査（経済産業省） 大学・研究機関における産学連携機能強化の在り方に関する調査（内閣府） 研究者の国際交流に関する調査（文部科学省） 【2014 年度】 研究不正に対応する諸外国の体制等に関する調査研究（文部科学省） 防衛技術研究開発に関する海外実態調査（政策研究大学院大学） 大学教育における分野別質保証の在り方に関する調査研究（文部科学省） 科学技術の政策的課題選択における社会経済的状況を踏まえた“予測”と社会への反映に向けたアプローチの探索に関する調査研究（新技術振興渡辺記念会） 第 10 回科学技術予測調査（担当：健康・医療・生命科学分野）（文部科学省） 研究者の国際交流に関する調査（文部科学省） 大学生、大学院生の国際的流動性促進に資するための各国の教育制度等に関する調査研究（文部科学省） 【2013 年度】 研究者の国際交流に関する調査（文部科学省） 中小企業の産学連携の実態と促進に関する調査（経済産業省） 大学への研究資金配分の選択と集中の影響（英国の事例）（新技術振興渡辺記念会） 主要国等における科学技術イノベーション政策の動向等の把握・分析（ドイツ）（内閣府） 【2012 年度】 科学技術イノベーション政策形成のための社会経済的課題把握に関する調査研究（新技術振興渡辺記念会） 海外ファンディング機関における研究評価手法に関する動向調査（NEDO） 海外における科学技術イノベーション政策の評価手法及び評価結果の政策見直しへの反映等に関する基礎調査（内閣府） 【2011 年度】 日本の長期ビジョン策定の在り方に関する調査研究（新技術振興渡辺記念会） 大学等の研究成果の事業化推進のためのファンド制度に関する実態調査（経済産業

	省） 日米欧におけるギャップファンドの活用実績等に関する調査（文部科学省） 企業における将来技術予測活動に関する調査研究（新技術振興渡辺記念会） 追跡評価の実施と活用に関する調査・分析（文部科学省） 日本の危機対応戦略の策定に関する調査研究：フェーズ２（危機に際して対応可能な社会とそれを支える科学技術について）（新技術振興渡辺記念会） 【2010 年度】 わが国におけるナノテク国際研究拠点構築の戦略策定に資する国内事例調査（産業技術総合研究所） 米国の大学における外国企業との産学官連携の実施状況等調査（文部科学省） 科学技術イノベーション政策における政策のための科学に関する調査・分析（科学技術振興機構） 我が国におけるオープンイノベーション実現のための包括的課題調査（産業技術総合研究所） 【2009 年度】 大学教育の量的規模の在り方に関する調査研究（文部科学省） 大学の質保証及び学位プログラムの在り方に関する調査研究（文部科学省） 医療機器イノベーションと医工融合に関する日米欧の比較調査（新技術振興渡辺記念会） 【2008 年度】 博士課程（後期）の学生、修了者等の進路に関する意識等についての実態調査（文部科学省） 公的研究のイノベーションシステムに関する調査研究（産業技術総合研究所） 先端的医療機器の開発における医工連携体制の日米欧比較調査（機械振興協会） 【2007 年度】 欧州主要国の公的研究機関における予算構造の調査研究（産業技術総合研究所） 研究開発テーマ選定のための各種ロジック構築方法に関する調査研究（産業技術総合研究所） 国内外主要研究機関の中長期戦略における分野構造策定に関する調査（産業技術総合研究所） 個人型研究の追跡評価（科学技術振興機構） 技術予測の政策インパクトに関する調査（新技術振興渡辺記念会） ベトナムの電子政府構築関連調査（民間企業） 【2006 年度】 イノベーション創出シナリオ作成のための調査研究（文部科学省） 【2005 年度まで】 米国主要州の高等教育将来需給予測モデルの構築（米国・州政府（テキサス州、ネバダ州）） 技術移転促進キャパシティ構築のための調査（世界銀行） 情報技術の数理的国際拡散モデルの構築（米国国家情報会議)、など
職歴	防衛庁（現、防衛省）で技術政策、国際情勢分析等に従事。ジョージタウン大学外交大学院（Georgetown University, School of Foreign Service）フェロー。 米国シンクタンク（FFRDC）であるランド研究所（RAND Corporation）の Doctoral Fellow 等を経て、2006 年、未来工学研究所に主任研究員として入所。
教育歴	東京大学教養学部基礎科学科第 2 卒業（教養学士)。東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修了(学術修士)。 サセックス大学科学技術政策ユニット（University of Sussex, Science Policy Research Unit） M.S. in Science and Technology Policy。 ランド研究所政策大学院（RAND Graduate School（現、RAND School of Public Policy)）Ph.D.（分野：政策分析（policy analysis)）。
論文発表（査読有りのもの）	Tatsuro Yoda. “The effect of collaborative relationship between medical doctors and engineers on the productivity of developing medical devices.” R&D Management. 46 (S1), 193-206. January 2016. 2014 年 12 月　能見利彦・小沼良直・依田達郎、「中小企業の産学共同研究実施企業数の推計と今後の拡大策の考察」、『産学連携学』（産学連携学会） 2011 年　Tatsuro Yoda. “Perceptions of domain experts on impact of foresight on

	policy making: The case of Japan." *Technological Forecasting & Social Change*. 78(3) (2011), pp. 431-447. 2006 年　Tatsuro Yoda. "Japan's Host Nation Support Program for the U.S.-Japan security alliance: Past and Prospects," *Asian Survey*, 46:6 (November/December 2006) 1993 年　Tomohiro Ijichi, Tatsuro Yoda, Ryo Hirasawa, "Mapping R & D Network Dynamics: Analysis of the Development of Co-author and Co-inventor Relations" 「研究技術計画」, Vol. 8, No.3, 1993
最近の学会発表等	2020 年 10 月　英国の科学的助言に基づく政策決定：新型コロナ対応における数理モデルの適用を事例に（研究・イノベーション学会、第 35 回年次学術大会） 2018 年 10 月　障害者の STEM 教育、STEM キャリア支援について（研究・イノベーション学会、第 33 回年次学術大会） 2017 年 10 月　海外の大学・研究機関の運営について②事例調査：カリフォルニア工科大学（研究・イノベーション学会、第 32 回年次学術大会） 2016 年 10 月　海外の大学・研究機関における産学連携機能④：カリフォルニア工科大学（研究・イノベーション学会、第 31 回年次学術大会） 2014 年 10 月　国際的な研究交流における多様性（Diversity in mobility patterns of researchers）（研究技術計画学会、第 29 回年次学術大会） 2013 年 11 月　我が国の企業におけるコーポレートフォーサイトの利用（Corporate Foresight in Japan）（研究技術計画学会、第 28 回年次学術大会） 2012 年 10 月　社会経済的課題の実態的把握のための「ワイルドカード」の探索（研究技術計画学会、第 27 回年次学術大会） 2009 年 10 月　Tatsuro Yoda. 2009. Cooperation between medical doctors and engineers for developing advanced medical devices. In *Proceedings of the 2009 Atlanta Conference on Science and Innovation Policy*, ed. Susan E. Cozzens and Pablo Catalán. IEEE. [http://hdl.handle.net/1853/32330] 2008 年 10 月　依田達郎「科学技術者の年齢構成の今後の変化と日本の対応」、『技術と経済』(500), 76-78, 2008-10 2008 年 10 月 "Participants Looking Back: What Are Perceptions of Participants of Past Foresight Activities on the Impact on Policy-making?"（欧州委員会 IPTS 主催、Third International Seville Conference on Future-Oriented Technology Analysis (FTA)）
賞罰	Richard E. Sherwood Memorial Award 受賞（ランド研究所、2006 年）
主な資格	実用英語技能検定 1 級、TOEIC990 点、基本情報技術者
所属学会	研究・イノベーション学会 日本公共政策学会
言語	日本語（母語）、英語（上級）、フランス語（中級）、ドイツ語（中級）、韓国語（初級、TOPIK1 級）、中国語（初級、HSK3 級）